

戦争法案 つぶす

若者憲法集会のデモに1000人

東京・吉祥寺

SEALDsが呼びかけた「戦争法案に反対する全国若者いっせい行動」に呼応して、東京・吉祥寺駅周辺で23日、若者ら約1000人が「戦争法案つぶすデモ」を行いました。主催は若者憲法集会実行委員会です。



友人と参加した東京都目野市の会社員、渡辺わかさん(25)は「法案が通ったら、日本がこれまで培ってきた平和への努力が台無しになってしまう」と心配します。「自衛隊を戦場に出すことが国際貢献ではありません。絶対に憲法9条を変えてほしくない」

「法案の内容もやり方もひどい」と憤るのは、東京都大田区から参加した若田真歩(ま)ゆきさん(24)です。「自衛隊が戦場に行くのには、どこか平和貢献だというのが、安倍首相は国民の命なんだろうでもいいと思ってる。早く安倍政権をやめさせなくては」と話しました。

今月16日に大田区で「大田若者デモ」に取り組んだ仲間8人で参加した白石純也さん(29)。「実際に戦争になれば行くことになるのは僕ら。自分たちの問題として声を上げなくては。戦争法案は絶対阻止したい」

夫と小5の娘、小2の息子と一緒に歩いた東京都立川市の中町典子さん(38)は「将来、子どもたちがつらい思いをさせたくない。この子たちがおとなになってからも平和であってほしい」と語りました。

吉祥寺駅周辺の繁華街では、バスの中や陸橋の上から手を振る人

戦争法案廃案を訴え、吉祥寺の繁華街をデモ行進する人々たち=23日、東京都武蔵野市

ミドルズが国会前抗議行動



「殺し殺される国にさせない」と訴えるミドルズの抗議アクション参加者=22日夜、国会正門前

「後方支援でドンパチやるな」「戦争法案絶対反対。生演奏に合わせ、国会正門前に力強い怒りのコールが響き渡ります。戦争法案に反対するMIDDLES(ミドルズ)は22日夜、初の統一行動「国会前抗議アクション」を開催しました。300人(主催者発表)が参加し、廃案への思いをぶつけました。

「おとなだって黙ってない」と発定して1カ月のミドルズ。「若い人の行動は知っているけれど、集会やデモは尻込みしてた。自分が参加できる場をやって見つけた」というのは横浜市の高根恵さん(45)。東京都板橋区の男性(41)は8日の集議行動は2度目。「何もなかった世代」なんて言われたら悔しい。自分ができることを必死でやる

「戦争行かないおっさんが決めるの、マジやめてほしい」と塾の中学生に言われて衝

する人をつくってほしい」と話し、「自分たちの代わりにデモをしてあげたいです。がんばって」とエールを送りました。

撃を受けた(金沢市の高木美保さん・51歳)など、遠方からの参加者も。

代表の岩脇直広さん(56)が「いま再び、二度と戦争をしないことを誓う」と結ぶ「戦後70年声明」を発表。「自分らの世代は、これまでなんとか乗り越えてきた。でも子どもたちのことを考えたら、声をあげなきゃいけない。とにかく1人でも多く共感を広げたい」と語りました。

日本共産党の宮本岳志衆院議員が連帯あいさつしました。